

キツネノカミソリ川観賞会 (H.26.8.10)

【写真による報告書】

主催：市野川水系の会 in 滑川町

共催：比企の川づくり協議会

1. 参加者：水系の会、比企の川づくり協議会々員、町民など約25名
2. 後援者など：滑川町吉田町長、赤沼建設課長ほか4名、(総計約30名)
3. 写真報告 (P1~P8) は、以下の通りです。



P 1

観賞会々場は、蛇行河川B区
間の中ノ島にて行った。(A区
間の中ノ島へ、徒渉困難につ
き、B区間に限定)

小雨降る中、約30名の参加
者が参集し、受付を済ませ待
機。



P 2

9:30予定通り、開会。

全員、傘を持ち・カッパ着用
して、司会の水系の会澄川副会
長から、開会の挨拶を拝聴。

「8日、新座市の墓苑にてキ
ツネノカミソリ群落の視察を
行ってきたが、規模・本数共に
こちら、羽尾地区が上回る。」
ことを報告された。



P 3

開会の挨拶
右より

滑川町長：吉田 昇さん
水系の会副会長：澄川清治さん
// 会長：日下進さん



P 4

吉田町長よりのご挨拶内容

「自宅周辺にも、いろいろな植物が自生してきて自然の素晴らしさを実感している。

蛇行河川内の貴重なキツネノカミソリ群落も、自然との共生の観点から保全して欲しい。」



P 5

日下会長から、前日に張り終えたトラ・ロープ越しに、群落の状況説明。



P 6

蛇行河川A区間の中ノ島には、B区間より広大な群落が咲き誇っているが、雨のため徒渉出来出来ずに、B区間に限定して写真撮影などに興ずる参加者達。



P 7

11日の全数調査では、A地区中ノ島で1万本以上、B地区中ノ島で約1万本が、確認された。

羽尾地区のA・B地区だけで、2万本以上の株が確認されました（調査者：上野・日下・澄川）。



P 8

和名：キツネノカミソリ

学名：Lycoris sanguine

分類：単子葉類ヒガンバナ科

本種は、全国に自生する。

日本レッド・データBによると、関東地方では埼玉・東京・山梨県で、「準絶滅危惧種（NT）」に指定されている。